

近畿中国局フォレスターNEWS



八頭郡内の民有林伐採箇所

県と地域林政連絡会議を開催（鳥取県）

鳥取森林管理署と鳥取県は、7月12日、八頭郡内の民有林伐採箇所と県林業試験場で、地域林政連絡会議を開催しました。

まず、八頭郡内の民有林伐採箇所、TST社製タワーヤーダを使用した集材等の状況を視察しました。請負事業者の八頭中央森林組合からタワーヤーダでの集材について事業説明があった後に、「タワーヤーダの稼働率を上げるため列状間伐の発注をして頂きたい。」「国有林の林道をもっと強固な路体にしてほしい。」との意見がありました。

場所を県林業試験場に移し、近畿中国森林管理局から、平成29年度重点取組について、鳥取森林管理署から、平成29年度事業の概要について、鳥取県から県の取り組みについて説明した後に、「ナラ枯れ発生の原因であるカシノナガキクイムシの発生量が、県によるモニタリング調査では、昨年の3倍、場所によっては12倍発生している。」「今後、広葉樹、センダン等を植栽していくのか。」「地元新規採用者の確保に向けて、民国で連携したOJT、インターンシップ等が出来ないか。」等の意見・要請がありました。

鳥取署は、今後も鳥取県と情報交換を密に行い、ナラ枯れ対策等の地域に貢献した取組を進めていきます。



鳥取県林業試験場

県と連携した市町村への技術的支援（滋賀県）

滋賀森林管理署は、昨年度に米原市を重点取組地区とし、滋賀県、米原市と連携して、ニホンジカ捕獲の取組を行っています。（当ニュース平成28年度9月号を参照ください。）

7月29日の午前には、米原市役所伊吹庁舎会議室で、滋賀署長から「米原市内の国有林の現況」、「国有林の重点取組事例（システム販売・早生樹造林等）」、地域林政調整官から「ニホンジカの捕獲」等について情報提供した後に、意見交換を実施しました。

意見交換では、捕獲後の囲いわな等について質問があり、ニホンジカの捕獲については、「餌が豊富な時期の捕獲であることから、わなの移設や餌の工夫等で対応している。」と回答しました。

午後からは奥伊吹国有林に移動し、シカ捕獲のための大型囲いわなの設置状況を確認し、現地検討会を実施しました。意見交換では、「入り口の方は、山側を向いている方が良いのでは。」との意見があり、設置に至る過程を説明しました。滋賀署は今後も民国の連携を強化して地域に貢献する取組となるよう、ニホンジカのより効率的な捕獲に向けて、改善を重ねていきます。

※重点取組地区とは、府県と署等の森林総合監理士（フォレスター）等が連携して、技術的援助やその他の必要な協力を重点的に行うために設定した市町村のことで、こうした市町村への技術的援助等をフォレスター活動といいます。



米原市伊吹庁舎



奥伊吹国有林

林野庁

近畿中国森林管理局

技術普及課



国民の森林・国有林

TEL: 06-6881-3524 FAX: 06-6881-2055

URL: <http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

〒530-0042 大阪市北区天満橋1丁目8-75

編集後記

森林総合研究所の広報誌にバイオマス材料利用の特集記事がありました。石油に由来する二酸化炭素の排出を抑制するために、少々コストアップになってもバイオマス由来の原料を選択することが社会の中で認知されるようになったとのことです。工業材料の改質リグニン、セルロースナノファイバー、木材・プラスチック複合材（混練型WPC）等を使用した製品の普及が期待されます。